

【情報公開文書】

作成日2026年 5月 7日
(最終更新日2026年 5月 7日)

受付番号： I2026-046

課題名：都市部における、ドクターカーによる医療介入開始時間短縮が心停止患者
の生死に及ぼす影響

1. 研究の対象

2020年1月1日から2025年12月31日までの期間に、東京科学大学病院ドクターカー運用範囲内からドクターカーにより当院へ心肺停止で搬送された

2. 研究期間

研究実施許可日～2029年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。
該当なし

4. 研究目的

背景として、ドクターカー制度とは、緊急度の高い患者に対し、医師が医療機器を搭載した車両で現場へ出動し、病院外での医療介入を可能とする救急医療体制である。東京科学大学病院では、ラピッドカーおよびドクターカーを運用しており、医療介入および決定的治療開始までの時間短縮、救急隊では対応困難な高度医療の提供、ならびに治療方針決定の早期化を目的としている。

ドクターカーを用いることによって覚知から医療チーム接触までの時間が短縮されることが期待されるため、その影響が心停止の患者の予後（生死）にどの程度の影響を及ぼしているのかを明らかにすることを目的とする。

5. 研究方法

本研究は単施設後ろ向き観察研究である。

患者の背景として年齢・性別、病態に関する因子としてBystander CPRの有無、心停止の目撃の有無、初期波形におけるShockable Rhythmの有無、さらに医療介入として挿管処置およびアドレナリン投与の有無、ならびに覚知から医療チーム接触までの時間について、救急隊が記入した搬送通知書および院内電子カルテ情報を用いて収集する。

収集したデータを用いて死亡を目的変数とし、各因子を説明変数とした多変量多重ロジスティック回帰分

析を行い、予後に関連する因子について検討する。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、心停止の目撃の有無、挿管処置の有無、アドレナリン投与の有無、覚知から医療チーム接触までの時間、当院から現場までの直線距離、等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われらないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学 救命救急センター 藤江聡

連絡先：fujiesatoshi@gmail.com

当院の研究責任者：救命救急センター 森下幸治

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）